

『信じられない繋がり』

皆さんこんにちは、伊藤康博です。いや～残暑は厳しいし、気がつけばもう9月だし、子供たちにとっては楽しかった夏休みもいよいよ終わりだし、でも、親にとってはある意味ホツとしますね。(笑い)今年の夏は、寒がりです。暑がりの僕にとっては大変でした。こまめに水分補給すれば、新陳代謝が良いおかげなのか？汗は吹き出るし、タオルと短パンは必需品。年々ひどくなっているような気がするな～。昨年よりは筋肉量が増えたので、その影響もあるらしいが…。さて、今年からスタートする『させほ文化ウィーク』。そのフィナーレに出演して下さる佐野成宏さん。この8月はその件もあり、佐野さんとは頻りに連絡を取らせていただいた。実は、佐野さんご夫婦と妻は20年来の友達で、その縁あって、今から17年ほど前に、福岡でのリサイタル後にわざわざ佐世保まで足を運んでくれて、弓張の丘ホテルの中華レストランで食事を一緒にしたことがある。その後、僕の自宅で出前のラーメンのどんこつスープを飲み干した佐野さん、確か当時はデビューしたて？の頃だった。それからというもの、佐野さんの九州でのコンサートには毎回ご招待いただき、何回も聴かせていただいたが、気がつけば佐野さんはNHKニューイヤーコンサートの顔となり、今やテノール界のスーパースターだ。最近では、昨年10月の飯塚でのリサイタル。僕が言うのも何だけど、佐野さんの表現に更に深みを感じた。その佐野さんが、今回の第九で初来佐。そういう関係から、『させほ文化ウィーク』のフィナーレとして、第九の企画が本格化した際に佐野さんの出演交渉を任されたのは僕だった。



早速、佐野さんの事務所に電話を入れ趣旨を説明したが、正直なところを明かすと、「果たして、この企画に世界の佐野さんが来てくれるか??」と恐る恐る。ところが事務所の社長さんは「伊藤さんからのお話であれば、OKです。」と二つ返事。社交辞令でも嬉しいよね(笑い)。でも、やっぱり念のため「本当にOKですか?!」と、二回ほど事務所に確認の電話を入れた。常に謙虚で飾らない佐野さん。『多分、佐野さんとはこれから永いお付き合いになる。』と、私は一方的に思っているが、ありがたくもあり信じられない繋がりである。佐世保の皆さんにも是非、生の“佐野成宏”を聴いていただきたい。公演は11月4日(日)アルカスSASEBO 大ホール(開演15:00)、チケットは9月1日からアルカスSASEBOで発売。(一般1,000円、学生500円)因みに、翌5日(月)は、佐野さんのオペラセミナーも開催される。こちらは聴講もできるので、興味ある方はアルカスSASEBOリハーサル室までどうぞ。(要聴講料)

では、また…。

伊藤康博